



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭葉変性症、軽度認知障害、主観的記憶障害、プレクリニカル、大うつ病性障害、双極性障害、統合失調症、発達障害、パーキンソン病と診断された方、特に疾患がない方

【研究課題名】

超高感度デジタルELISAを用いた精神・神経疾患バイオマーカーの開発研究

【研究責任者】

水澤英洋（国立精神・神経医療研究センター 理事長特任補佐）

【本研究の目的及び意義】

本研究では、血液中に存在する脳神経細胞由来エクソソームを分取・精製する標準的な方法を確立することにより、認知症を含む精神・神経疾患関連バイオマーカーによる疾患の診断や重症度の評価法を確立する。

【本研究に提供する試料・情報】

血液

年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴

【研究期間】

2020年4月23日～2022年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

大阪大学、京都府立医科大学、東京大学、慶應義塾大学、国立長寿医療研究センター

2021年5月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)